

# 令和4年度の減災対策協議会の 取組について

(第8回土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会より)

令和5年5月30日

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

# 「令和4年度の重点的な取組」の背景

- 令和2年度までに、平成28年度に「水防災意識社会 再構築ビジョン」を受けて策定した「土器川の減災に係る取組方針」に関する緊急行動計画の取組35項目について、各関係機関によって取り組まれた。
- 令和2年度以降も引き続き減災に係る取組を推進し、未達成な項目を解決するため、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続することとし、令和2年度に、中讃地域を対象に広域的な多種多様な組織・団体が連携する「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト（中讃地域RNP）」を設立した。  
 【防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト=Resilience Network Project (RNP)】  
 ⇒中讃地域（土器川・大東川・金倉川）の浸水想定区域を対象として、防災・減災・縮災に係るプロジェクトを実施
- 中讃地域RNPでは、地域住民が迅速かつ的確に命を守る避難行動を実行する“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げる“災害に強い地域づくり”を目指した取組を推進している。

## 「土器川の減災に係る取組方針」取組35項目

「土器川の減災に係る取組方針」 取組の大項目	取組項目	達成	未達成
1) 水害に対する安全性の向上および危機意識の向上とともに迅速かつ確かな避難行動のための取組	24項目	15項目	9項目 「多機関連携型タイムライン」利用推進 「地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した取組」 など
2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための的確かつ効率的な水防活動の取組	7項目	6項目	1項目
3) 一刻も早い生活再建、社会経済活動の回復を可能とするための排水活動、施設整備(防災機能の維持)の取組	4項目	4項目	0項目

中讃地域として、  
地域連携の取組推進が必要

減災対策の取組における本質的な課題(人材育成と地域連携の仕組みづくり)への対応



中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト(中讃地域RNP)の推進

## 【本質的な課題への対応】(犠牲者ゼロを目指して)

### ●地域住民の水防災意識の向上

- ・【人材育成】: 防災士等と連携した地域防災リーダーの育成、公助と共助が連携した防災教育・訓練の仕組みづくり
- ・【地域連携】: 共助の横の連携体制(連絡体制)の強化、公助と共助が連携した情報共有の仕組みづくり

# 令和4年度の重点的な取組

- 令和4年度の重点的な取組は、減災対策の『本質的な課題への対応』を推進する「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の取組を、土器川減災対策協議会として活動支援することを目的に、以下の2項目を設定した。

## ①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進

- ・【人材育成プロジェクト】の具体的な取組の推進
- ・【地域連携プロジェクト】の具体的な取組の推進

⇒「リレー防災みらいサロン」の企画・試行(丸亀市開催)

## ②多機関連携型タイムラインの推進

- ・令和3年度に作成した「多機関連携型タイムライン(素案)」を基に、「流域タイムラインの作成・活用」を踏まえ、関係機関とのワーキングによる議論の場を設けて、さらに具体的な検討を進め、タイムラインの活用を推進

⇒「多機関連携型タイムライン(洪水)」の検討と作成

⇒「土器川流域タイムライン(洪水)」の作成